

高速道路整備が飛騨白川郷の観光入込み客数に与える影響分析

名城大学 学生会員 西本 将典
 名城大学 フェロー 松井 寛
 名城大学 学生会員 栢川 幸詩

1. 本研究の目的と意義

岐阜県白川村の合掌造り集落は、1976年に国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定され、1995年にはユネスコ世界遺産条約に基づき国内で6番目の世界文化遺産として登録された。また、平成11年、14年には東海北陸自動車道荘川IC、白川郷ICが開通し今後東海北陸自動車道全線開通により白川郷へ訪れる観光客さらに増大すると予想され、白川郷に与える影響は様々なものが考えられる。そこで本研究では、今後東海北陸自動車道全線開通により白川郷へ与える影響の分析を行うために、現時点での白川郷の観光実態を把握するため白川郷で観光実態調査としてヒアリングアンケートを実施し白川郷に与える影響の分析を行う。

2. 白川郷の観光客の推移

図1は白川郷全体に訪れた観光客数を示し、平成10年、11年と観光客数はほぼ変化がないが、東海北陸自動車道荘川ICが開通した直後の平成12年は平成11年と比べ年間の観光客数が18万人増えており、平成13年、14年と年々観光客数は荘川IC開通前の増加傾向に比べ、増加率が倍以上の増加傾向にあり、今後も高速道路整備によりさらに観光客数は増加すると考えられる。

3. 日帰り客数の変化

図2は、白川郷を訪れた観光客で日帰りの観光客と白川郷で宿泊した観光客を示し、近年の高速道路整備により観光客数は増加しているが、日帰り客数が増加し、白川郷での宿泊客数は多少増加傾向にあるがあまり変化は見られず、今後高速道路が整備されても日帰り客数が増加し、宿泊客数はあまり変化がないと考えられる。

4. 白川郷観光実態に関するアンケート調査

4.1 アンケート調査概要

白川郷の観光実態を把握するため、白川村の道のキーワード：高速道路整備 白川郷 世界遺産
 連絡先：〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501

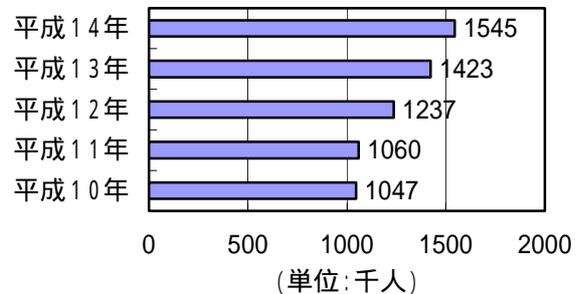


図1 白川郷の観光入込み客数

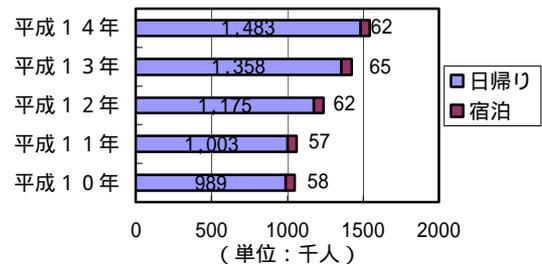


図2 日帰り客と宿泊客の割合

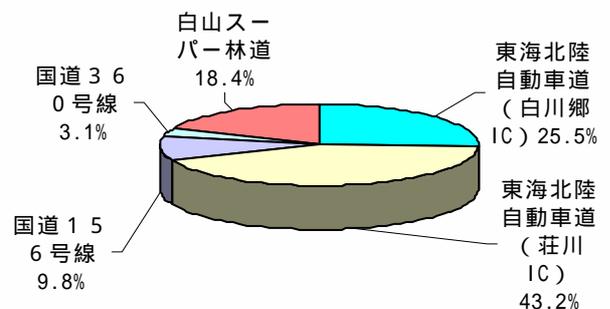


図3 白川郷までの経路

駅及びせせらぎ公園駐車場で二日間調査を行った。
 調査日時：平成15年10月18日(土)、19日(日)
 (どぶろく祭り期間中)
 調査場所：白川郷道の駅駐車場(祭り会場付近)
 せせらぎ公園駐車場(世界遺産地区)
 調査方法：駐車場内及び路上で観光客を対象にヒアリング形式でアンケートを行う。

どぶろく祭り
 名城大学

TEL&FAX：052-832-1151

4.2 調査項目

白川郷に訪れた回数 前回白川郷に訪れた時期
 前回訪れたときの経路 今回の経路 立ち寄った主
 な観光地 立ち寄る主な観光地 人数 旅行予定
 宿泊地 予算 住所 年齢

4.3 調査結果

白川郷道の駐車車場	86 サンプル
せせらぎ公園駐車車場	208 サンプル
合計	294 サンプル

5. 白川郷までの経路

図3は、アンケートの結果で白川郷までの経路の割合を示し、高速道路を利用した観光客は全体の約70%を占め国道の利用は約10%であり、行楽シーズンにアンケートを行ったので白山スーパー林道の利用が18%を占めた。今後さらに高速道路の路線拡大で高速道路の利用が見込めると考えられるが、行楽シーズン以外で調査を行うとこの結果以上に高速道路を利用し白川郷を訪れると考えられる。

6. 地域別観光客の割合

図4は地域別観光客の割合を示し、その他は北海道、東北、甲信越、中国、四国、九州地方を示す。荘川ICが開通する前は白川郷を訪れる観光客は北陸地方が多く、関東地方、関西地方、その他の地方からの観光客の割合は少なかったが荘川ICが開通すると、関西地方からの観光客の割合が増加したことがわかる。また、白川郷ICが開通すると北陸地方からの観光客の割合は多少減少し、関西地方、その他の地方からの観光客の割合が増加し、高速道路の路線拡大につれ、年々全国各地から白川郷に観光客が訪れるということがわかり、今後高速道路の路線拡大により白川郷を訪れる観光客の割合が今よりその他の地方の割合が増加し、全国各地から白川郷を訪れると考えられる。

7. 旅行予定と、宿泊地の関係

図5,6はアンケートの結果で観光客の旅行予定と観光客の宿泊地を示す。旅行予定では、白川郷には日帰りを訪れる観光客が最も多く次に、1泊2日の旅行予定が多い結果となり、白川郷IC、荘川ICの開通により白川郷までの交通アクセスが容易となり、旅行時間が短縮され白川郷まで日帰りを訪れることが可能となったことが考えられる。宿泊地別の割合は、北陸地方が最も多く次に、高山市内が多い結果

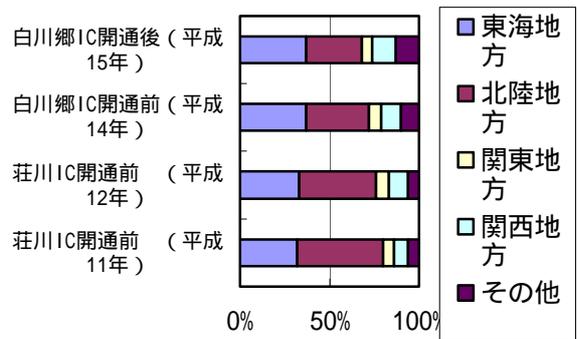


図4 地域別の観光客の割合



図5 旅行予定

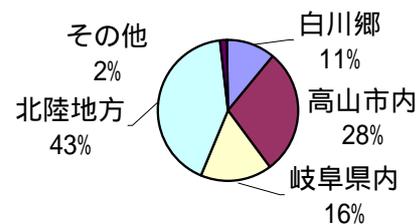


図6 宿泊地別の割合

となり、白川郷よりも観光名所や宿泊施設の多い北陸地方や高山市内で宿泊される観光客が多いということが考えられる。また、宿泊施設の設備やサービスが白川郷よりも他の宿泊地のほうが観光客にとって魅力があり満足のいくものではないかと考えられるので、白川郷ではあまり宿泊されないのではないかと考えられる。

8. 結論・今後の課題

今回ヒアリングアンケートを行うことで、白川郷の観光実態を把握することができ、過去のデータと比較することで高速道路整備が白川郷に与える影響を分析することができたが、高速道路が整備されることにより観光客数は増加したが、日帰り客数が増加し今後も増加すると考えられるので、今後、白川郷での観光実態調査を行うとともに、白川郷での宿泊客及び宿泊施設の実態を調査し分析を行う。

[参考文献]白川村役場ホームページ観光課 商工光課情報及び観光統計、交通量調査参照